

保健だより

奈良中学校 保健室 : R4.2.4

< 学校教育目標:「世界を小とせよ」奈良中生

知性をみがく生徒 愛情深き生徒 体を鍛える生徒 >



* 1学年 中学生から考える『生命の授業』*

令和4年1月19日(水)に「くまがやピンクリボンの会」から5名の皆様を講師としてお越しいただき、1学年を対象とした「中学生から考える『生命の授業』」を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として生徒のみの参観とし、オンライン配信でご講演いただきました。講師の皆様は校長室でご講演し、生徒は各クラスで視聴しました。

校長室での様子



クラスでの様子



『くまがやピンクリボンの会』は2008年に熊谷市の市民活動として設立された団体です。乳がんや子宮頸がんを始め、がん早期発見、早期治療につながる検診率向上のための活動をされています。「中学生から考える『生命の授業』」では、ご自身やご家族の経験を通して私たちに「命の大切さ」や「検診の重要性」を伝えてくださっています。

また、講師の大崎様は、がんを患い亡くなられたお子様の利枝さんのお話をしてくださいました。このお話は、生徒達にとっても心を打たれるお話でした。明日が来ることは当たり前でないこと。いま、あなたが生きてここにいることは奇跡なのかもしれないこと。一日一日を大切に、生命に(いのち)に花を咲かせて。というメッセージをいただきました。

生徒の感想の一部を紹介します。

○私は、利枝ちゃんの手紙を見て、本当に心が痛みました。普通にできていた生活もできなくなり、でも自分は「元気だよ」と言える勇気がすごいと思いました。涙がこみ上げてきました。お話を聞いて、家族のみんなに検診に行くことがどれだけ大事なのかを伝えたいです。そして、当たり前の日々が、これからも過ごせるように自分でもたくさん笑って、がん予防を心掛けたいです。ありがとうございました。

○今、生きていることは当たり前ではないこと、自分を支えてくれている人がいること、世界中には生きたくても生きることのできなかった人がたくさんいることを心にとめて、自分も友達も大切に守りながら生きていきたいと思いました。辛いことがあっても、簡単に「死にたい」なんて言わずに、笑顔で乗り越えたいと思いました。

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が、冬休み明けから急拡大しています。長野県諏訪中央病院 玉井医師「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書(オミクロン株編)」を参考にオミクロン株についてお伝えしていきます。

ウイルスは毎年、4・5月(春)、8月(夏)、1月(冬)に波が来ていると言われています。

どうして感染は急拡大したの？

- ・冬になり、換気が悪くなった。
- ・冬休みにクリスマス、忘年会…様々な行事で人と人が密に接触する機会が多かった。
- ・ワクチンの効果が低下してきた。
- ・変異ウイルスの出現により、感染力が高まった。



オミクロン株の特徴は？

- ①感染力が強い。
- ②免疫回避能力が高い。
- ③病原性(感染した時に病気を起こす性質)は下がった。

オミクロン株とデルタ株を比較すると…

- ・感染力は、オミクロン株はデルタ株に比べて2~3倍の感染力。
- ・重症化リスクは、オミクロン株はデルタ株に比べて低い。
- ・ワクチンの効果は、オミクロン株はデルタ株に比べて低い。
- ・再感染は、オミクロン株はデルタ株に比べて5~6倍再感染しやすい。



私たちにできることは？

引き続き、マスクの正しい着用・換気・手洗いを行ってください。そして今まで以上に密は避けましょう。体調がいつもと違うなど感じたら、受診をお願いします。

～諏訪中央病院 玉井医師「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書(オミクロン株編)」参照～

この内容は、玉井医師「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書(オミクロン株編)」の内容の一部を基に作成しました。詳しくは、玉井医師「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書(オミクロン株編)」<https://www.suwachuo.com/pdf/omicron.pdf> をご覧ください。

マスクのサイズあっていませんか？

正しいマスクの着用は顎から鼻までしっかり覆うこと！

ちび縮んで小さすぎる

要注意! ゴムが伸びて鼻がでている

お知らせ

熊谷市の児童生徒を対象に、新型コロナウイルス抗原検査キットが市から配布されました。奈良中学校では2/2(水)に生徒へ配布をしました。使用方法等よく確認の上、使用してください。

令和4年2月18日(金)に1学年を対象とした性教育講演会(授業参観)を行います。講師は中島助産院院長の中島桂子様です。※実施について変更する場合がございます。予めご了承ください。